



国際会長 (IP) Joan Wilson (カナダ)

“Our Future Begins Today”

「私たちの未来は、今日より始まる」

アジア地域会長 (AP) Tung Ming Hsiao (台湾)

“Through Love, Serve”

「愛をもって奉仕をしよう」

東日本区理事 (RD) 利根川 恵子 (川越)

「明日に向かって、今日動こう」

“For the Future, Act Today!”

湘南・沖縄部部長 (DG) 若木 一美 (横浜とつか)

「あなたが退会しない理由は？」 ～明るく・楽しく・元気よく～

横浜クラブ会長 (CP) 金子 功

「YMCA とともに！」

“Together, with YMCA!”

会長 金子 功
副会長 舟田 正夫
書記 伊藤 誠彦
会計 古田 和彦
直前会長 松島 美一

監事 松島 美一
ブリテン 高田 一彦
担当主事 青木 一弘

<今月の聖句>

金子 功

「空の鳥をよく見なさい。種も蒔かず、刈り入れもせず、倉に納めもしない。

だが、あなたがたの天の父は鳥を養ってくださる。

あなたがたは、鳥よりも価値あるものではないか。」

マタイによる福音書 6章26節

今月のひとこと

「ミャンマーでの年明け」

田口 努



明けましておめでとうございます。皆様、新年は、どのように迎えたでしょうか。私は、18年振り、2回目の新年を海外、ミャンマーで迎えました。ヤンゴン空港は、新ターミナルがオープンしたばかりで、18年前に迎えて

くれた金ぴかの飾りの建物の左右に新旧国際ターミナルが並び、国内線ターミナルも新設され急成長を遂げていることを感じさせました。それでも国際空港前の駐車所付近には、マキで調理した露天の店が並び、ターミナルの端では、タナカと言われる白いパウダーを顔に塗った女性たちが床にすわり弁当を広げていたり、ロンジーという巻きスカートのような

服を男女ともに着ているなど昔ながらの風景はありました。一番変化を感じたのは、新車のタクシーや乗用車、バス、トラックが増え、かつては、日本の漢字の広告をつけた中古車が大半でしたが、今は少数となっていました。

ヤンゴンからバスで6時間ほどのパテインという8年前のナルギスという台風の被害で10万人が亡くなり20万人が行方不明となった地域のYMCAと協働で、広大な肥沃なデルタ地帯に点在する50から60世帯の農村への移動医療活動モバイルクリニックに同行しました。パテインからさらに1～2時間の村々での医療活動と子ども達への地域交流・公衆衛生活動を行いました。この活動の報告は、また別の機会にさせていただきますが、現地のYMCA関連の医療関係者とパートナーとして7年間活動したことは、設立10年足らずのパテインYMCAの成長に大きな力となっていることを感じました。

訪問した村の人々は、雄大な自然の中、電線も水道もなく、竹で出来た台風がきたら飛んでしまうような昔ながらの家に住んでいますが、なんとソーラーパネルと日本製バッテリーに直結した充電設備を太陽に向けてかざしていたり、スマホで私たちを撮影したりと驚かされました。炭や木のマキで調理する屋台も、よく見るとバッテリーに直結したLEDの明るい屋台で日本の屋台より進んでいました。

世界の技術革新が、発電所、電柱や電線などのインフラ整備が進まない国を、一足飛びに新時代に進めているような気がしました。都市から離れ医療などの貧しさはありますが、豊かな自然の恵みと、共に支えあうコミュニティが生きている農村を活かした自立的で持続可能な開発がすすめられたらと思いました。世界が益々近くなっていること実感した新年です。

<2016年12月例会実績>

在籍者	出席者	出席率	B F
19名 (功勞 会員1 名を含 む)	メソ 12名 メネット 0名 コメント 0名 ビジター 0名 ゲスト 1名 合計 13名	67 % (メーキャップ 名を含む) 前月修正出席 率	今月分 切手 0g 現金 0円 年度累計 切手 0g 現金 0円

<1月の行事予定>

強調月間【IBC/DBC】

日	曜	時間	行事内容	場所
21	土	18:00	ワイズ-YMCA 合同新年会	広東飯店
26	木	17:00	横浜クラブ第二例会	中央Y

「12月例会・忘年会報告」

伊藤 誠彦

日時：12月8日（木）18：00～20：30

場所：横浜中華街 廣東飯店

出席者：青木、伊藤、メソ、今村、遠藤、大江、大高、押川、メソ、金子、メソ、神村、メソ、古賀、齋藤、高田、舟田、古田、松島

ゲスト：平岡 守（Y日本語科）

高田ワイズの司会で忘年会に先立ち12月例会。開会点鐘、ワイズソング、ワイズの信条に続き、ゲストの紹介。今回のゲストは青木担当主事が研修で不在の約3ヵ月間、献身的に代行を務めて下さった平岡さん。

会長挨拶では、今年度前半のクラブ活動の実績の説明とともに、会員の協力に対する謝辞が述べられた。



会を大いに盛り上げて下さった今村ワイズ



続いての忘年会も高田ワイズの硬軟とり混ぜての名司会で盛り上げていただいた。ハイライトは今村ワイズによるウクレレ演奏、楽しい音楽を次々と奏でていただいて、時には全員で合唱、会を大いに盛り上げていただいた。途中、主事研修で長らくワイズからは離れておられた青木さんから復帰の挨拶もあった。

久しぶりの例会出席となった押川ご夫妻、神村ご夫妻、金子メネット、青木ワイズも含めて、8月以来の20人の大台



にのる例会になった。NHKの朝ドラ「べっぴんさん」で、「飲んで、食べて、歌う」大切さが出てきましたが、正に、「飲んで、食べて、歌った」大いに幸せな気分になった例会・忘年会でした。



「横浜YMCAクリスマス会報告」

金子 功

恒例の横浜YMCAクリスマス会が12月15日（木）18：30より湘南とつかYMCAホールで行われた。テーマは「つながろう～ともし火をともして～」と題し常議員を初めとするレイパーソン、職員等200余名が一堂に会した。来年度の採用内定者もゲストとして招かれ会場は若々しい楽しい雰囲気にも包まれた。

礼拝は、4本のろうそくに4人のYMCAのユースが一本ずつ火をともして始まった。聖書朗読とクリスマスを祝う讃美歌に続き、日本キリスト教団蒔田教会の古谷正仁牧師からクリスマスのメッセージをいただいた。メッセージはオランダの絵本作家コルネリス・ウィルクスハウスの物語を引用してのクリスマスの贈り物の意味についてであった。

第2部の祝会は工藤誠一常議員会議長の食前感謝の祈祷で始まり、周到に準備された飲み物と食べ物で参加者がお互いの懇親を深める楽しいひと時を過ごした。祝会の半ばでは、熊本地震復興支援の呼びかけ、並びに富士山YMCA10周年記念事業の一環である研修棟の建設を含む6つのプロジェクトへの募金、目標2,000万円のアピールがあった。

恒例となった横浜クラブからBAPY基金への寄付贈呈もこの場で行われ、金子会長から松橋秀之BAPY基金委員長に10万円の目録が手渡された。

最後に田口総主事より感謝の言葉が述べられ定刻の20：30に閉会した。横浜クラブからの出席者：今村、遠藤、金子、古賀、齋藤、古田、田口、松島、



「第75回Y-Y's協議会報告」

金子 功

第75回Y-Y's協議会が12月6日(火)午後7:00より横浜中央YMCA501号室で開かれた。今回は厚木クラブが担当。開会礼拝は奥菌一紀担当主事の司会で行われた。

田口総主事は、すでに13保育園のクリスマス・ページェントに出席したが園児たちがまとう天使の白いガウンを見て、嘗て元ワイズの里吉さんが白い布地を寄付してくれたことを思い出したとワイズの厚意を披露した。若木部長は、三浦ふれあいの村で実施した部会が有意義であったとYMCAの協力を謝意を述べた。

協議事項としてはY-Y's合同新年会(1/21)、横浜YMCA会員大会(2/11)、又報告事項の主なものは第19回チャリティーラン、全国リーダー研修会、日本YMCA大会、BAPY基金の実施等であった。

クラブ報告では、横浜クラブは①中央Y/北Y幼児サッカー大会支援(9/22)、②第19回チャリティーランへの協力(10/15)③中央Yウェルカム・フェスタでのバザー担当支援(11/23)を挙げた。当日の出席者:ワイズ側;16名、YMCA側6名;横浜クラブ出席者:金子、田口。次回予定は3月7日(火)、金沢八景クラブ担当。

【新年への一言特集】

「今年の抱負」



青木 一弘

目標を達成しようとする「意思の力」は筋肉と同じで、鍛えるためには日々トレーニングが必要です。新年になると、いつも自身の目標を立てますが、どんなに楽観視しても、筋肉がなければベンチプレスは持ち上げられません。ある調査によれば、新年の目標をできるだけ小さくすることで、達成できる確率が50%も上がるようです。「今年こそ痩せるのではなく、仕事の後に5分程度ランニングをする」「ストレスを減らすのではなく、朝目覚めた時に2~3分瞑想する」など、今年は、毎日の小さなクセを習慣にして、目標を達成できるようにしたいと思います。

「当たり前」のことを着実に



伊藤 誠彦

6時50分、我が家のある横須賀市の初日の出の時刻である。メネットと一緒に、家のすぐそばにある小高い丘の上から初日の出を眺めた。房総半島の稜線辺りが赤くなったと思ったら、瞬間に真っ赤な太陽が昇った。同じ思いで集まっていた二十数名の近所の人達からも歓声が上がった。

毎日繰り返されている大自然の営みであろうが、当たり前

のことが当たり前に行われることの有難さを感じた。

今年から後期高齢者のレッテルが張られるところを執行猶予になり、当面はただの高齢者のままで過ごせそうだ。ワイズの多くのただの高齢者、准高齢者の人達と一緒にあって、若い人達に、当たり前前支援を当たり前前にしていきたいと願っている。

「咀嚼」

今村 謙



80代になってから時の流れが早い気がするがこの1月9日で87になり90も目前だ。

超高齢化の時代序の口だ。

いくら長寿でも心身共に健康でないと面白くない。まずは健康であるがさらにアンチエイジングの為、早食いの悪しき習慣を直すべく「咀嚼」の年にしたい。

今年も生涯現役を目指し若々しい青春の日々を過ごすつもりである。

「新年の抱負」

遠藤 喜七



戊年の私は、昨年10月で70歳となり、高齢者の仲間に入りました。今、自分があるのは、父母のお陰で健康な心身を頂きこの年齢になり、改めて両親に感謝の心が湧く自分です。

父母と両親で4人、そのまた両親で8人、こうして数えていくと10代前で1024人、なんと20代前では100万人を超すとのも事!感慨無量の命を頂いていることを考えると、人様はすべて兄弟、親戚であると思うと、おもいやり優しさとパワーを以って、素直な心で触れ合う周りの方に勇気を与え、奉仕の心で喜んで頂けるよう、家庭・社会・国家・世界平和に通ずる事を念じ、奉仕の心で精進させて頂くことだと確信しております。

「新年の抱負」

大江 浩



皆様の2017年が平和と希望の年になりますように。2016年は、「まさか!」の連続でした。第一は4月の熊本震災。第二は6月のEU離脱。第三は11月の米大統領選です。

熊本震災は「現在進行形」です。YMCAは、これからも支援を通して苦難にある人々と共に生き続けます。EU離脱は分断される世界の象徴です。相互不信という名の「壁」を乗り越え平和の実現のための歴史的実験が揺らぎ、戦争の世紀へ後戻りしようとしていることを深く憂慮します。次期米大統領は、今日も誰かを罵り、攻撃し、世界を不寛容と排外主義の炎で包もうとしています。しかし、世界が如何に分断の危機に瀕しようと、怒りと憎しみに溢れようと、主の平和は来ると信じ

ます。闇夜の後に必ず朝が来るように。私たち一人ひとりが「平和の使徒」として日々歩みたいと思います。

<喜寿を迎えて>

大高 治



2月の誕生日で喜寿を迎えます。小田和正の歌に「戦い続けたわけじゃない。流されてきたとも思わない」という歌詞があるそうです。振り返れば、私も戦うというより流されないよう頑張りましたが、むしろ節目節目で良き巡り合せに救われ

て来たと思います。

孔子は2千5百年前、その人生を回顧し人間形成の過程を「吾十有五にして学に志す。三十にして立つ。・・・七十にして心の欲する所に従へども矩を踰えず」と語りました。

自分に当てはめれば「60にして自由に目覚め、70にして奉仕に志し、77にして巡り合わせに感謝し、」となりましょう。

継続して地域奉仕事業主査を務めることになりました。これも巡り合わせ。地域奉仕の充実に向け共働、共楽、共笑をモットーに行動したいと思います。

「今年の抱負」

押川 幸男



本年2017年は、マルティン・ルターの宗教改革から500年の記念の年でもあります。

ちょうど4年前、ヴィッテンベルク城教会を訪ねた時、今年の500年記念に向けて改修工事を行なっていて、内部を見ることができませんでした。今手元にあるその時のパンフレットを見ると、「Gute Werke haben keinen Namen」とのルターの言葉が記されています。「善き業とは、人々から賞賛や名声を受けるような目立ったものではなく、人の目につかないような小さな業なのだ。なぜなら、キリストは自由であったにも関わらず、私たちのために僕となられた。そして苦難を受けて、私たちのために最善を尽くされた。私たちは、キリストが為されたように、隣人のためいわば一人のキリストとなって、最善を尽くすべきである。」今年、ルターの「善き業」を黙想し、歩みたい。

「新年の抱負」

金子 功



私は、本年3月に傘寿を迎えます。4月には受洗5周年を迎えます。そして5月には金婚式を迎えます。

人生の節目の年と言えましょう。若き日に留学し、新婚生活を送った米国ボストン、ニューヨークにセンチメンタル・ジャーニーをすることが私の計

画の中にあります。

貧乏留学生の頃アルバイトをしたマサチューセッツ州ケープコッド沖にあるナンタケット・アイランド島を訪ね、ジャレッド・コッフィン・ハウスに宿泊したいと思っています。

但し、7月からは湘南・沖縄部の部長と言う重責を担うことに成っておりますので実現できるかどうかは極めて不透明です。

「健康第一」

神村 浩正



私は海外旅行が大好きでロンドン駐在当時西欧各地には殆ど行っているのですが、息子の駐在先である東南アジア各地やニュージーランド・東欧・ロシア・ヒマラヤなど変わったところには行ったが、次はトルコあたりかなと思っていたが各地の治安状況があやしくなってきた。それに去年は歯ぐきの腫瘍の手術と顎のリンパ節の手術をうけて、その後経過は良好であるが、海外旅行は控えた方が良さそうである。従って「抱負」などと大げさなことではなく健康第一で過ごすことになりそう。

「今年の抱負」

古賀 健一郎



昨年秋、卒業以来40数年ぶりに大学のクラス会に出席した。女性3人を含む20人が集まり、懐かしの日吉の街で懇親会を開いた。4人の両親の長年の看病と介護を最近やりとげた女性は『本当に出席して良かった。こんなに素敵な仲間だったのでですね。』と話した。昔の面影はあるものの、髪も白くなり薄くなり、顔にしわができて、年輪が刻まれた皆の笑顔があった。『いろいろな人生があり、また遭遇したであろうさまざまな困苦に負けず、希望を持ってここまで来られた。』と出席者からの感想があった。シニア世代であっても、精神的な『若さ』はいつまでも失わないでいたい。どんなささやかなことであっても、それが隣りに何か喜びを与えられるものにつながることであるなら、そのことに積極的に取り組んでいきたい。

「新年への抱負」

齋藤 宙也



昨年の4月から、所長の出田弁護士が出向し、同人の相談業務や刑事弁護を引き継ぎました。それに加え、営業目的で地元のロータリークラブに入会したため、かなり忙しくなってきました。それでも、なるべく例会と主要な行事には参加するようにしたいと思います。

今年の元日のトップニュースが、イスタンブールの銃乱射事件となってしまったのは残念です。犯人がイスラム国と関

係があるのか、背景はよく分かりません。しかし、何がしかの対立はあるのでしょうか。そんな人類の和解を草の根で進めるYMCAの活動に思いをはせていきたいと思います。

今年も一年間よろしくお願いします。

「新年への抱負」

高杉 治興



会員の皆さん、新年おめでとう。温暖で快晴に恵まれた良いお正月を迎えられたことと思います。私事ながら暮近く、白内障の手術を終え、今も治療を続けています。と同時に心臓に異常とのことで病院で検査をした結果、特に異常なしで一安心し

ました。

昭和44年、甲府クラブに入会以来、毎年新しい年への抱負を書きましたが、「言のみ多く実の少なかった」ことを大変恥かしく思っています。最近のクラブではYMCAの退職者などが入会されクラブの新しい力となっています。新しく定義された高齢の老馬にむちうち初心にかえりワイズメンズクラブの拡大に微力をつくしたいと思っています。

どうぞよろしく。

「身の丈に合った生活を！」

高田 一彦



やはり年齢を重ねると体の何処かに異常を感じますが、それに備えてのケアと体力の維持に心掛けたいと思います。物事に対する好奇心等を維持することが、何よりも気力充実の根源と心得、毎日の生活を送りたいと思います。何事にも自分の出

来る範囲で前向きに取り組みたいと思います。

朝の太極拳と毎週のボーリングを通じての健康維持を基本として健康管理を行っていきます。

また、船橋の地に居住して満6年になりましたが、これからのボランティア等のあり方を見直す時期に来ていると感じています。

「新年の抱負」

田口 努



昨年は、熊本大地震の自然災害の他、神奈川県では、津久井やまゆり園刺殺事件、川崎桜本でのヘイトスピーチ、無認可保育園での幼児虐待死、福島の子供のいじめ事件、横浜市教科書

(副読本)から関東大震災時朝鮮人虐

殺削除。政治的には、英国EU離脱、ポピュリズム・保護主義トランプ大統領をはじめ各国で頭頭など想像を超えるできごとが多かった。横浜青年新年号での阿部先生の対談で教えていただいたネガティブケーパービリティ、すぐに解決できない

不確実で困難なこと事への受容力、忍耐力、耐えつつ折りつつ、自分の出来ることを一つ一つ積み上げて行動していくことで希望へつなく能力を少しでも磨きたいと思います。

「新年の抱負」

野村 郁雄



皆様 新年明けましておめでとうございます。2016年はイギリスのEU離脱やトランプ氏の大統領選勝利などありましたが、その背景には移民排斥運動などに端を発したナショナリズムの影響が大きいのではないかと思います。この内向き傾向は日本でも、

いじめ問題や障がい者への差別などに代表されています。

2017年は多くの人々が違いを認め、優しい気持ちを持つような年になるように祈ります。

さて、今年度の抱負は「スマートに生きること」。スマート=減量という意味だけではなく、思考面や行動面においてもスマートに生きようと思います。そのためには、自分を磨くこと。錆びないようにスマートに生きる年にしたいと思います。

「新年度への抱負」

舟田 正夫



いつの間にか株式相場が19,000円台になりました。一方、現政権はいろんな案件を積極的に推進しています。良いことですが、無理をしないように願っています。個人的には、今年も海外旅行と読書に時間をかけて、残された人生を充実したものになりたいと考えています。昨年はイギリス旅行で19世紀の小説の背景となっている地方のありさまを見てきました。今年は2回くらいアメリカの建国に関わる歴史的な建物や場所を見てきたいと考えています。そして、心掛けて英米の19世紀の作家の小説を読みます。最後に、横浜ワイズメンズクラブのために出来るだけのことをしたいと思います。

「落ち着いて丁寧に」

古田 和彦



今年は横浜ワイズにとって忙しい年になる。金子功ワイズが湘南・沖縄部部長を務められ、部の書記・会計も松島・伊藤ワイズが担われる。私たちは自分のクラブの事だけでなく部への協力が欠かせない。生来粗忽者の私であるが、このところそれに加えて大切なことを失念したり、勘違いすることがとみに増えている。迷惑をかけないように、落ち着いて一つ一つゆっくりでも丁寧に正確に事柄をなしていきたい。心がけます。

「長寿を願い」

松島 美一



曾祖母、松島理世は昭和2年（1927年）に92歳で没しました。当時としては異例の長寿で、幸せな女性と伝えられます。天保七年江戸生まれ。同年生まれは徳川篤姫、土方歳三、坂本龍馬、松平容保、山岡鉄舟、榎本武揚と幕末、明治の有名な

人が多士済々ですが、昭和まで生き抜いた人は希です。曾祖母は長寿ゆえに数々の表彰も受け、当時の記念写真、下賜品、記念品の一部は私の手許に残っています。私の孫娘には五代前の先祖にあやかって同名の「松島理世」を名乗らせました。私も曾祖母に習いこの時代の長寿者になりたいと正月に当たり、体力保持、養生、摂生に努める決心をしました。遅すぎた事の無いよう願います。

第二例会報告

高田 一彦

日時：12月8日17:10～17:40

場所：中華街 広東飯店（忘年会場）

出席者：青木、伊藤、大高、金子、古賀、高田、舟田、松島
協議・確認事項

- 1) 行事予定の確認
- 2) Y-Y's 合同新年会 2017年1月21日（土）
18時～20時 於：広東飯店
- 3) 第2回東西日本区交流会申し込み
12月15日までに伊藤書記へ
- 4) 次期部役員候補者について 部長：金子ワイズ、書記：松島ワイズ、会計：伊藤ワイズ、事業主査：担当クラブ選定
- 5) 次期クラブ役員候補者 会長：舟田ワイズ、書記：伊藤ワイズ、会計：古田ワイズ、地域奉仕：大高ワイズ、会員増強：古賀ワイズ、国際交流：（未定）、ユース：齋藤ワイズ、ブリテン：高田ワイズ、監事：松島ワイズ（以上2月例会にて議決予定）
- 6) 第4回スピーチコンテストについての確認
- 7) メネット会 国内・国際プロジェクトへの献金
12,000円
- 8) 11月バザーの反省点につき高田ワイズよりコメント
- 9) DBC・IBCへのクリスマスカードへの寄せ書きを本日参加者で署名。

イアとして参加できる機会等の紹介、そして世界に目を向け、国際、文化共生、人権、平和などについて考える機会として行われます。是非、ご参加ください。

日時 2月11日（土・休日）10:00～15:30

場所 横浜とつかYMCA

テーマ ONE WORLD ONE LOVE ONE HEART ～平和の花を咲かせよう～

内容 平和に関する基調講演、各事業によるワークショップ、諸団体ブース、復興支援物産販売等

●富士山YMCA10周年記念募金開始のお知らせ

富士山YMCAは、2017年5月13日に10周年を迎えます。未来の子どもたちへの贈り物として設立した富士山YMCAはさらに多くの皆さまに愛され、ご利用いただく施設として10周年を機に新たな働きを加えたいと思い記念事業を行います。つきましては、記念事業に関しての募金を12月15日より開始しますのでご協力をお願いします。

期間：2016年12月～2018年12月

目標額：2,000万円

対象：レイパーソン、会員、保護者、維持会員、職員、その他

横浜YMCA&ワイズ合同新年会

日時：1月21日（土）18:00～20:30

場所：広東飯店（横浜中華街）

出席者：横浜YMCA常議員・事業委員・職員
湘南・沖縄部ワイズメン・メネット

Happy Birthday:

今村讚(9)、松島紀子(11)、舟田正夫(15)、高杉治興(20)、野村郁雄(20)、舟田昌子(24)、大江浩(26)

例会報告：古田ワイズ

2月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
4-5	金	18:00	第2回東西日本区交流会	東山荘
11	土	10:00～16:00	横浜YMCA会員大会 第一例会（12:00～13:00）	とつかY
18-19	土		部長沖縄公式訪問	沖縄
24	水	13:30	第4回日本語スピーチコンテスト	中央Y

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは横浜YMCA青木一弘にご連絡下さい。

メール aoki_kazuhiro@yokohamaymca.org

電話 045-641-5785

YMCA

だより

担当主事 青木 一弘

●横浜YMCA会員大会のご案内

横浜YMCA会員大会は、維持会員相互の親睦・交流・学びの機会として、また横浜YMCAでの活動の場・ボランティア